



令和8年4月1日  
有松まちづくりの会

### 有松まちづくりの会役員会 (3月23日)

- ・5月15日の総会に向け、担当の見直しと役割分担をしました。
- ・有松が重伝建に選定されて本年7月で10年となるため、記念行事の検討をしました。
- ・有松での講演会や、12月に松阪で行われる全国町並みゼミへの団体参加などが提案されました。



まちの風景 井桁屋前

### 日本遺産に関する勉強会 (2月25日) 於:有松・鳴海絞会館 主催:名古屋市歴史まちづくり推進課

日本遺産の趣旨や目的、優れた事例などについて学ぶための勉強会が行われた。今後、複数回にわたって開催されるとのこと。第1回のこの日、参加者は関係者を含めて約30名であった。

1回目ゲストは、岐阜市で地域連携DMOとして活躍するNPO法人ORGAN理事長の蒲 勇介氏。(写真右)



■ はじめに 日本遺産認定継続となった有松にとって、岐阜市の「信長公のおもてなしが息づく戦国城下町・岐阜」の事例紹介はタイムリーなものであった。

日本遺産制度発足の平成27年に認定され、その後条件付き認定を経て令和6年に重点地域となった岐阜市の取り組みを裏側でご尽力された蒲氏の講演は、大変興味深いものであった。

長年に渡り、おもてなしに関わる様々なツアーを企画・実施。岐阜市以外にも地域連携の輪を広げた。特に長良川流域観光振興の手腕には、地域活性化へのヒントが満載である。地域の皆さんと一緒にプログラムを作る姿勢など学びがあった。

■ 蒲 勇介氏講演から 「岐阜や長良川を誇れるものにした」と、20年程前に様々な体験会を始めた。地域の自慢したいものを案内する小さな取り組み(例えば御座船遊び)が、やがて「長良川おんぱく」という長良川流域での体験会に広がっていった。地域のことを知って欲しいという想いは、仲間を増やし仲間を育てた。そして、岐阜には何もないとの意識が、今ではいろいろな人たちと一緒にまちづくりをしていこうと変わった。

また、体験会は地域の魅力を商品化をするのに有益。本物である＝満足度が高いほど高価値を生み出す。戦国時代の芸術・食事を復活させた御座敷遊びは、現在ORGAN旅行事業に多くの収益をもたらしている。

有松でも、自慢したいもの(地域資源)の担い手が行政や旅行業界、よそ者・若手など一緒になって体験会を企画・運営してはどうか。その中から地域の活性化・観光によるまちづくりを進めることができるのでは。講演後半は、日本遺産をブラッシュアップする中で誕生した「戦国案内人」(現在20名程)の話であった。



## 春のあいまつさんぽみち CCNet取材 (3月16日)

11回目を迎え、益々有松の早春に根づいてきた福よせ雛の展示風景を、地元CCNetが取材されました。有松福よせ雛実行委員会の六鹿さん、加藤さんと雛の制作をされた服田さんがご案内。雛が一堂に会している絞会館2階の資料室や今年の映えスポットの一つ川村小路で撮影。服田さんは「子ども達の目線に合わせ低い位置に雛を展示しました。みんなとても喜んでくれて嬉しい」と。



## 有松まちなみ美術館 (2月27日~3月1日) 主催 NPOコンソーシアム有松

○竹田家住宅 「有松絞りの展開」展が書院や三番蔵で行われていた。圧巻の内容。有松絞りが全国の絞り産地に影響を与えていることがよく伝わってきた。

白根絞り・由良川藍・浅舞絞り・甘木絞り・豊後絞り・遊草会のご協力でたくさんの着物が展示されていた。

洋間などでは、故竹田耕三氏の作品が特別に展示。

○旧山田薬局 有松絞親子体験教室の参加者が制作されたTシャツやバックの作品が並べられていた。

○ATSUMARI プロの絞り後継者育成のための研修作品を展示。研修生5名の高度技術への挑戦が伝わってきた。

○有松郵便局 豊田信行氏の「切り絵展」を開催。



上:洋間 下:旧山田薬局 右:竹田家住宅三番蔵

## アリマツマーケット (3月1日) 主催:あいまつ中心家守会社 写真:左から MADO/天満社下の広場/祇園寺境内

今回は雨でぬかるむ天満社の中の広場を避けて実施。いつもながら

若い人を呼び込む企画力に脱帽。出店者と客の距離の近さが印象的であった。



## 第19回 寿限無茶屋で上方落語 九雀亭 (3月1日)

有松小学校出身で寿限無茶屋ご当主の同級生 上方落語家 桂九雀師匠による落語会が開かれました。3月1日は奇しくも九雀さんが47年前に弟子入りされた日。

入門してまず最初にお稽古した演目「東の旅発端」を、高座に用意された見台(けんだい)・膝隠(ひざかくし)を張扇と拍子木を使い、結構な音量でリズムカルに叩きながら披露されました。次に「盗人の仲裁」、中入り後は衣装も改め「百年目」で、いつもながら寿限無茶屋の座敷は笑いの渦に包まれました。

記念すべき第20回は 6月28日(日)15時から です。ご予約は寿限無茶屋まで。



## 有松町家ライブ ひな祭りスペシャル (3月1日) 於:棚橋家住宅



棚橋家の代々の雛人形が飾られた部屋の一角でのコンサート。参加者40名はふるまわれたお汁粉で温まった体で、フルーツの音に浸っていた。音楽愛好家であった棚橋先生の遺品である古楽器演奏は、この会場でこそ輝きを増している。森本英希(フルート)と関野直樹(ピアノ)の演奏を求めての参加者も多い。

《次回予告》春うららライブにことごと

4月5日(土) 14:00~ 箏:杉浦充 二胡:中村由美子

## おこしもんを作ろう (3月2日) 於:申申居 主催:NPO法人コンソーシアム有松

ひなまつりの定番「おこしもんづくり」の会が今年も行われ、23名の老若男女が参加して楽しみました。地域ボランティアの皆さんの段取りの良い指導の下、参加者はにこやかに米粉をこね、歴史を感じる木型も使いながら成形し彩色。

蒸しあげの時間には「彩 Irodori」で和紙染め体験もできるというスペシャル体験に初めての若いママ達から歓声が上がっていました。

おこしもんは、江戸時代から続く尾張名古屋の郷土料理として、令和7年度100年フードに認定（コンソーシアム有松が申請）されたもので、この会は次世代に繋いでいく良い機会となっています。



認定証



仕上げはお母さん

## 第5回有松史料調査保存会 発表会(3月12日~15日)於:棚橋家住宅 主催:桜花学園観光総合研究所

### 《展示内容》◆ 有松の歴史年表

- ◆ 世界大戦当時の有松
- ◆ 有松の古い写真及び地図
- ◆ 昭和時代の有松絞り見本帳
- ◆ 浮世絵に見る有松と絞り
- ◆ 昭和初期の有松の映像



展示会の様子

いつもながら保存会の方の熱意をもった丁寧な説明が光る。見学者も感化されるのか熱心に見学。質問や当時を知る方の語りがいたるところから聴こえてくる。耳に届く語りがなんと貴重なものか…

取材した記者が興味惹かれた第一は、平成9年当時の旧川村家住宅の上写真。浮世絵(「尾州有松絞店之図 河村弥平店先」)でしか知らない建物が目の前に現れた。2000年代初期の長坂南写真(有松区画整理事業の様子)も。

もう一つは、約90年前の有松を撮影した映像。昭和初期の様子がよく分かった。合わせて、棚橋恭子さんへのインタビュー映像は、戦争を考えなければならぬ今の時期に大変タイムリーな企画と感じた。80年前小学生だった自分と戦争。庭に設けられた防空壕のこと。父 龍三氏と捕虜で軍医であったシュルツ氏との友情物語。「父は収容所でのことは、一切話さなかった」と。戦争のむごさを言外に語っていた。



棚橋家住宅2階の映写会場

## 有松天満社春季大祭 (3月15日)

多くの参拝者が社殿を訪れていた。若い親子連れが目につく。下の広場もそれ以上の人込み。参道55段の階段は年配者にはキツイようだ。「若い人がたくさん来てくださるのはありがたい」と関係者の声。そこには文嶺講の皆さんの涙ぐましいご



努力が…昨年から始められた奉納習字、高校生以下無料に加え、今年は射的ゲームのおまけつき。次々と参加者が訪れていた。中の広場を忙しく+若さを振りまいていたのは巫女さん。男女がいらっしやるのは、今の時代を象徴するかのようだ。

## 有松に魅せられて⑤

### 有松を想い、行動されている人々 浅井 万貴

400年続く町並みや絞り、お祭りが今に残る有松に魅了され、2022年の11月にお店 日本茶カフェMARUKI を始めました。

それから3年。この期間に私が感じたことは、たくさんの方が見えないところで動いてくださっているということ。有松のことを大切に想って動いてくださっている人の姿がそこにありました。その一つ一つが今の有松になっています。

伝統的な有松に魅了されてお店を始めた私が、今魅せられているのは、この有松を想い、行動されている人々。

今日も一つ時を重ねる有松で、私はお店を営むことができ嬉しく思います。これからも人々の想いに寄り添い、大切に時を感じていきたいです。



### 名古屋グランパス 稲垣 祥選手 有松を訪問 (3月4日) 於:有松・鳴海校会館

2021年から始まった名古屋グランパスとの連携事業「～世界に風をおこす～ SIBORIプロジェクト 2026」の一環として、稲垣選手が有松に来てくださいました。実際に絞り体験をしながらコラボ商品のデザイン案を考えた大学生と共に、デザインを検討し決定しました。

校会館2階での検討会議中に、階下から多くの子どもたちの声が…スタッフの大学生たちに有松の町並みを案内した有松小学校の子どもたちです。会議終了後に、稲垣選手を囲んで記念撮影。ハイタッチも叶い大満足の様子でした。



とびっきり笑顔の子どもたち

### 有松を訪問するなら、この時期に (3月1日) 於:有松・鳴海校会館

和装の団体さんが足袋に絞りを施していた。和装愛好会代表者のお話は傾聴に値する。紹介したい。

「着物で訪れたいまちNo1は有松。絞りまつりの時期によく訪問したが、人出が多くて・・・この時期は暑くなく、和装には最適」と。午前は町並み歩き、午後は希望者に絞り体験を実施とのこと。



着物姿で絞り体験



### 催事・行事予定

- 4月中旬～5月初旬 絞り鯉のぼり展示 東海道一带 同実行委員会
- 4月14日～19日 工藤 潔・梶野敬介 彫刻二人展 ノリタケの森ギャラリー 1
- 4月20日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
- 4月26日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 4月27日(月) 18:30 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は新規会員を募集しています。(年会費1000円)

詳しくはホームページ又はお近くの会員までお問い合わせください。

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

「有松かわら版」をカラーでご覧いただけます。

### 《編集後記》

有松のまちを隅々まで歩くのが私の趣味かな？東海道沿い以外にもステキな場所がいっぱい。

### まちの風景 提灯

